損　益　計　算　書　の　要　旨

特別振興資金勘定　　（平成24年１月１日から平成24年12月31日まで）　　（単位：百万円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業費用	9,629	事業収益	3,626
競馬振興事業費	2,034	特別振興資金減少額	6,002
畜産振興事業費	1,725		
払戻金上乗せ費	2,875		
競馬法附則第８条第２項による交付金	2,993		
合計	9,629	合計	9,629

㈱１．固定資産の減価償却の方法は定額法（建物附属設備及び機械・装置については定率法）による。

２．有形固定資産の減価償却累計額は一般勘定で794,336百万円、特別振興資金勘定で4,125百万円である。

２．主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　　東京都港区西新橋１丁目１番19号

⑵　ディスクロージャー担当部署　総務部　情報公開室

⑶　電話番号　　03―5785―7930

３．平成25事業年度の事業計画の概要

⑴　競馬の開催

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	―	―	東京競馬場	５回	45日
函館競馬場	４回	24日	中京競馬場	４回	26日
福島競馬場	３回	22日	京都競馬場	５回	44日
新潟競馬場	３回	24日	阪神競馬場	５回	42日
中山競馬場	５回	41日	小倉競馬場	２回	20日

・合計開催回数　36回

・合計開催日数　288日

⑵　馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許の実施

馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許について、厳正に実施する。なお、馬主の登録及びその抹消並びに調教師及び騎手の免許及びその取消しにあたっては、あらかじめ公正審査委員の意見を聴き、厳正を期す。

⑶　厩舎関係者の養成等

競馬学校において騎手及び厩務員の養成を行い、技能等の開発・レベルアップに資するため、養成システムを充実し、実践的かつ体系的な指導・教育を行う。また、厩舎関係者に対する研修を実施し、技術・知識の向上等を図る。

⑷　特別振興事業等

①　競馬場の周辺地域の住民又は競馬場の入場者の利便に供する施設の整備、地方競馬との連携・協調をより効果的なものとする諸施策その他競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施する。

②　畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

③　特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せ施策を実施する。

④　地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画補助業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

４．平成24事業年度の事業報告の概要

⑴　競馬の開催状況

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	２回	14日	東京競馬場	５回	41日
函館競馬場	２回	12日	中京競馬場	３回	22日
福島競馬場	３回	22日	京都競馬場	５回	44日
新潟競馬場	４回	28日	阪神競馬場	５回	42日
中山競馬場	５回	41日	小倉競馬場	２回	22日

・合計開催回数　36回

・合計開催日数　288日

⑵　馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許

登録等の種類	登録等の数	取消の数	事業年度末数
馬主の登録	77名	109名	2,256名
競走馬登録	5,273頭	5,281頭	7,925頭
服色の登録	96件	117件	1,931件
調教師の免許	213名	３名	210名
騎手の免許	139名	16名	123名

※　上記のほか、国際交流競走に係る馬主の登録が８名、取消しが10名、競走馬の登録及び取消しが10頭、服色の登録が８件、取消しが10件、調教師の免許が10名及び騎手の免許が14名あった。また、地方競馬との指定交流競走に係る馬主の登録及び取消しが97名、競走馬の登録及び取消しが124頭、調教師の免許が110名及び騎手の免許が105名あった。また、臨時試験による短期騎手免許者が17名あった。

⑶　競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、２歳馬79頭及び１歳馬74頭の育成を行った。

⑷　騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、５名が卒業した。平成24事業年度末現在の在校者数は17名である。